丸山前理事長退任挨拶

梅雨の候　　皆様におかれましては健やかにお過ごしのことと存じます。

　皆様には幾多のご理解とご協力を賜り、お陰様を持ちまして2023年度の定期団地総会も無事終了し、私も退任となりましたので一言ご挨拶申し上げます。

　目に見えない恐怖の新型コロナウィルスが蔓延し始めた時期に理事長を拝命し、新型コロナとともに過ぎたこの3年を振り返りますと、築42年となる居住空間に、改めて生活の安心・安全で快適な空間を提供しよう、と理事会の永年の課題となっておりました、外部サッシ、玄関ドア、玄関インターホン等、三件の交換工事、更に高速光通信の導入、地デジTV回線の改良など諸工事を皆様のご理解とご賛同を頂き理事会が遂行できましたこと、何より感慨深いものです。その後、第三回大規模修繕工事が予定通りスタートすることができ、改めて関係者様、皆様のご指導とご協力に心より感謝申し上げます。

　皆様もお気づきかと存じますが、交換工事等については永年にわたり班会議等で要望があった事案であり、既存の規約・内規・申し送り等が優先されてきたことにより、その都度先送りとなってしまっていたようでした。

　五番街も同様、日本が直面している高齢化と少子化の問題を抱えており、従前の規約の縛りは別として、これから住民の皆様の快適な生活とふれあい交流をどのように提供し、予算執行をすればよいか、諸工事は丸投げをせず管理費・積立金の出費を削減しよう、執行や工事監理に住民の専門家と専門系理事を有償でも活用すべし、との考え方で進めてまいりました。この過程には役員経験者、有識者ら諸氏の参加で規約検討委員会を再開していただき、其々手探り状態で規約改定案を総会へ提案、ご承認をいただくことで、専有部の変更、専門家住民らへ業務委託、修繕積立金の改定と進めることができました。

　これからの新理事会も引き続き「高齢化・少子化・諸物価の値上げ」の逆風に直面していくことと存じます。どうぞ新理事会、委員会活動、関連団体クラブサークル活動、イベントの再開などに住民の皆様からご理解とご参加、そしてお知恵を拝借できますよう、よろしくお願い申し上げます。

　皆様がコミュニティ五番街で健康で安寧に過ごされますよう、心よりご祈念申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。三年間ありがとうございました。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　丸山守人